# ウガンダ派遣（３か月）大学生ゆりつぃんさん「どっぷり浸かったウガンダ」

「アフリカでの教育開発」でプログラムを調べたとき、ウガンダが一番低水準での支援ができると感じたのでウガンダを選びました。

参加したプロジェクトは、ウガンダのMasaka県Kiyumbakimu村の孤児院で約２０人の子供たちと寮母さんと暮らしながら子供たちの身の回りの世話をするものでした。基本平日朝から夕方まで掃除・洗濯・皿洗い・水汲み・畑を耕す・まき集めなどをしていました。

現地での滞在は３か月でしたが費用の工面のため大学を１年休学し、アルバイトを４つ掛け持ちしました。出発が近づくにつれ自分に本当に３か月できるのか不安で悩みました。

そして実際に行くと、聞いていたので覚悟はしていたけれどやはり悩んだり苦しんだりすることも多かったですが、時間がたつにつれ慣れてきて楽しめるようになりました。

一番感動したことは会う人全員にWelcomeって言ってもらえたこと。でもその反面、白人（向こうからすると日本人も白人）は差別されているように感じてしまったことが悲しかったです。苦しいこともいっぱいありましたがどれもこれも本当にいい経験になったと感じています。ほんとに現地にどっぷりつかってきました。このプログラムを通じて得た経験をこの先の人生にどういう風に生かしていくのかが現在の課題です。アフリカらしくゆっくり、ゆっくり見つけていこうと思います。ありがとうございました。